

2010年度国際平和研究所スタディツアー

濟州島はいかにして「平和の島」 と名付けられたか

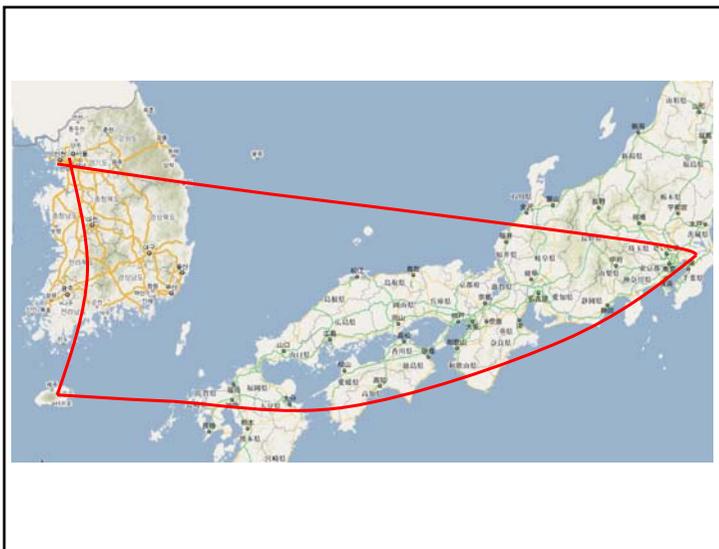
日本の侵略と戦争
南北分断と朝鮮戦争
韓国の現代史 「独裁」と「民主化」

- ・ 韓国政府は2005年1月に「濟州平和の島」を宣言、濟州道を北東アジアの平和のハブにするとして、研究機関などを設置、活動を始めた。韓国での首脳会談や各種の国際会議が濟州道で開かれることが多くなった。また、濟州道は2006年7月1日より行政上「濟州特別自治道」となり、自治権を大幅に付与された地方自治体として、経済的にも規制緩和と国際的基準が適用された国際自由都市として発展しようとしている。

- ・ 太平洋戦争末期の1945年、日本は「決7号作戦」という軍事作戦で、濟州島を日本本土を守るための最後の堡壘にし、関東軍など日本軍6万~7万人を濟州島に投入した。
- ・ 日本軍は、様々な海岸基地や飛行場、作戦遂行を容易にするための道路建設など、多数の軍事施設の建設を行う一方、濟州道民に食糧の供出も要求した。南濟州郡大靜邑の西南部の海岸に位置する松岳山周辺には、日本が中国を侵略するための前哨基地が築かれ、日本が最後の決戦地域にしようとした侵略の爪跡が多く残っている。日本軍は松岳山に堅固な防御陣地を構築し、松岳山-沙溪里-和順港-月羅峰一帯の海岸に連合軍の攻撃に備えて海岸特攻基地を作り、砲台、トーチカ、バンカーなどを設置した。



- 済州島では1948年4月3日、米軍政に反対し立ち上がった住民を軍や警察が「共産暴動」と位置付け虐殺、約3万人が犠牲になった。韓国政府は2003年、「4・3事件」と呼ばれているこの事件について、公式に謝罪、犠牲者の名誉回復に向けた特別法を制定するなど、政府レベルで「平和の島」としてのアピールに努めている。





日	月	火	水	木	金	土
13	14	15	16	17	18	19
				成田-济州	平和博物館・アルトル飛行場 魚雷基地・天帝瀑布など・城山 日出峰・万丈窟 海女博物館・43平和公園 国立博物館・自然博物館など 在来市場	
				济州(中文)	济州(中文)	济州(市内)
				24	25	26
济州-金浦 ソウル市内 見学	板門店(JSA) 景福宮 青瓦台(官邸)	NGO訪問 戦争記念館 西大門刑務所 歴史館などから 数カ所(未定)	仁川-成田			
ソウル	ソウル	ソウル				

航空運賃 (成田-济州 济州-金浦 仁川-成田)

海外旅行者保険 (3600円から3900円)

韓国内交通費 (济州島チャーターバス
(ソウル市内交通カード))

宿泊 (济州島3泊 ソウル3泊)

食費 25,000ウォン/day



- ・保証人からの承諾書の提出
(親や保証人に承諾をもらってください。後日、書式を渡します。)
- ・パスポート (ない方は、年内に取得してください。)
- ※パスポートの有効期限に注意
- ・旅行代金は、1月ごろに、振り込んでもらう予定です。
- ・参加者決定後、メーリングリストで連絡を取り合います。

【事前】

- ・数回の事前勉強会
- ・映画上映会 (勉強会を兼ねる)
- ・課題図書
- ・しおりの作成・・・参加者で分担して、訪問先について調べてもらいます。

【事後】

- ・報告書の作成
(各自分担して、訪問先の報告と感想文などを書く。)
- ・報告会の実施

岩本 勲「済州島4.3事件を訪ねて：日本平和学会2007年度秋季研究集会参加報告」
大阪産業大学教養部

西尾 昭, 張 君三「朝鮮戦争の起源についての一考察(一)」
『同志社法學』52(4), 49-108, 2000-11-30

西尾 昭, 張 君三「朝鮮戦争の起源についての一考察(二・完)」
『同志社法學』52(5), 108-135, 2001-01-31

田中宏,板垣竜太編『日韓 新たな始まりのための20章』
(岩波書店、2007年)

木村幹『韓国現代史：大統領たちの栄光と蹉跎』
(中公新書、2008年)

小林慶二『観光コースでない韓国 歩いて見る日韓・歴史の現場』
(高文研、2000年)

徐仲錫『韓国現代史60年』(明石書店、2008年)

高野史男『韓国済州島：日韓をむすぶ東シナ海の要石』
(中公新書、1996年)

文京洙『済州島現代史：公共圏の死滅と再生』(新幹社、2005年)

文京洙『済州島四・三事件：「島(タムナ)のくに」の死と再生の物語』
(平凡社、2008年)

伊地知紀子『生活世界の創造と実践：韓国・済州島の生活誌から』
博士論文(大阪市立大学, 1999年提出)

元秀一『猪飼野物語：済州島からきた女たち』(草風館, 1987年)

ジョン・メリル 著；文京洙 訳『済州島四・三蜂起』(新幹社, 1988年)

応募方法:

参加申込書(平和研ホームページよりダウンロード可能)に連絡先や志望動機などを記入の上、平和研(白金校舎)まで持参、または、件名「スタツア申込み」とし、パソコンのメールでお申込み下さい。(携帯メールからの応募不可)または持参下さい。

(できるだけ電子データ希望) 志望動機は、800～1500文字程度で結構です。スタディツアーで知りたいこと、や応募動機などをお書き下さい。

* 応募書類は、2010年10月15日(金)までに、明治学院大学白金校舎本館9階の国際平和研究所まで提出してください。メールでの提出を歓迎します。

* 応募者が多数の場合は、書類・面接による選考を行います。

■問い合わせ・主催:

メールの場合は、件名を【韓国スタツア】とし、平和研までお気軽にお問い合わせ下さい。訪問の場合は、白金校舎にて受け付けます。

明治学院大学 国際平和研究所(PRIME)
白金校舎 本館9階南側 Tel 03-5421-5652
prime@prime.meijigakuin.ac.jp

URL <http://www.meijigakuin.ac.jp/~prime/>

横浜校舎 8号館3階 (10-17時)